

資料5 アクションプランの27年度以降の取扱方針について

1. アクションプランとして定められているもののうち、平成26年度WGで実施したアンケートの結果では、高評価は「アクションプラン1 『人財マッチング事業』」に集中しているが、人財の育成と定着化という当初目標を達成するため、アクションプラン1・アクションプラン2 『人財育成事業』・アクションプラン3 『三遠南信地域への定住化』のうちから、1つずつに焦点を当て取り組むこととする。
2. アクションプラン1については、現在、優先実施項目と定められている「No.1地域企業経営者との対話・交流機会の創出」、「No.2地域の特徴をとらえたインターンシッププログラムの開発」、「No.3大学講義を高校生に開放し、地域大学への関心や理解を醸成」、「No.4大学のキャンパスや授業を紹介する冊子を作成し高校へ普及」について評価が高いため継続実施とする。
特に優先実施項目No.1について、平成26年度事業にて作成した経営者リストを活用し、地域内の学生・生徒への授業機会や交流機会を創出していく。
例) ① 経営者リスト(冊子)の教育委員会への配布
② 域内高等学校への郵送
③ SENA公式ウェブサイトへの経営者リストの掲載 など
3. アクションプラン2については、評価が高いものから低いものまで分散しているが、その中から「No.6 行政、経済界からの地域課題に対応した大学(ゼミ等)コラボレーション事業の実施」について取り組むこととする。
例) SENA構成員宛に地域課題の抽出
↓
抽出された課題をリスト化し、域内大学に提供
↓
構成員と大学間で直接やり取りを実施
4. アクションプラン3については、当初優先項目への評価が低いため優先項目の見直しを行い、No.9を休止とする。
代替の優先項目として「(2)－1)－①『三遠南信地域のライフスタイルの紹介冊子の作成と大都市圏でのPR』」について取り組むこととする。
例) 地域内企業に勤務する入社1～3年目(ないし20代)くらいの若者のライフスタイル紹介[冊子やウェブ] など
5. アクションプランの進捗管理は、現在の人財育成WGを移行した会議の場で行う。また、会議開催の呼びかけはSENA事務局が行い、進捗状況の報告は三遠南信サミットの場にて行う。